

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ナノデス・アキュドライブⅡ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.464	△RG 0.050	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ナノデス・アキュドライブⅡ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

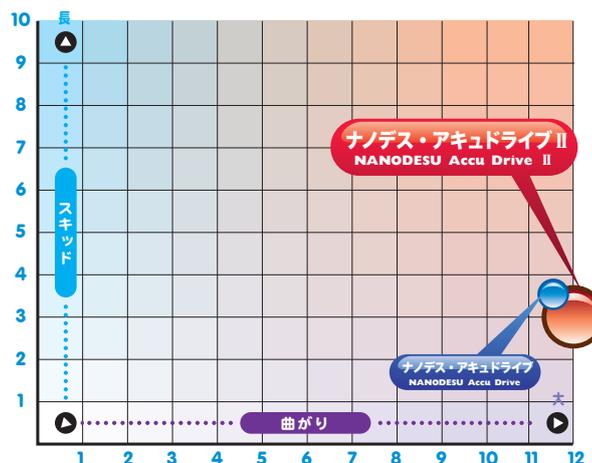
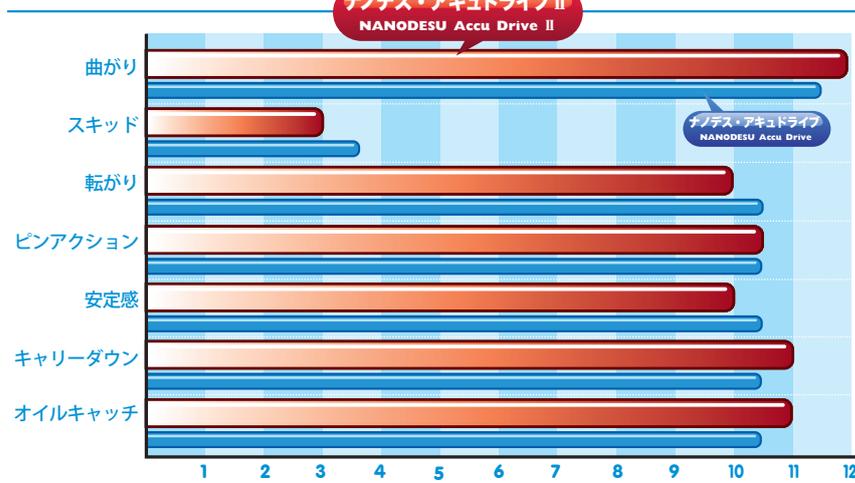
PAPからピンとの距離 **4** インチ

比較対照ボール：ナノデス・アキュドライブ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 **4** インチ



ボールの評価

ナノデスシリーズはカバーストックに新たな添加剤が加えられた”UG”Nano-Thaneとして生まれ変わり、アキュドライブと命名されました。初代アキュドライブのコアであるSuper Edge Coreはフリップとキレ感を演出できる性能を持ち、新たなパフォーマンスをナノデスシリーズに与え、これからの可能性も見出せたと思います。

2作目となる今回のアキュドライブ2は、アキュライズ10で使用したInfinity Coreを心臓部に収め、新添加剤のUG Nano-Thane 2.5 Pearlカバーストックを採用し作成しました。

アキュライズ10はアキュライズ最終章にして、奥の動きが顕著にでて、走り感とキレ感双方が味わえ、アキュライズシリーズの中でも上位の高評価を得ているスペックです。そのNano-Thane 2.0 PearlカバーをUG Nano-Thane2.5 Pearlにしたことで、アキュライズ10の性能をグレードアップさせ製品化するコンセプトだと読み取っていただけたと思います。Infinity Coreの最大の特徴は先で動きの出せるスペックにあり、その動き自体を活かしながら如何にキャッチのバランスを取っていくかが焦点になっていました。そのため”先の動きを出すためには走り”をだし、”オイルに対しての安定感にはキャッチ”の双方を活かすためにUGカバーストックが開発され、アキュライズ10よりもオイルを使ったラインを可能にし、オイル上での安定感とドライゾーンでの向きの俊敏さを備えた仕上がりになりました。アキュライズ10と比較投球してもこれぐらいキャッチ感が変われば差別化も可能ですし、アキュライズ10で滑ってしまうラインでもアキュドライブ2では安定したラインが描けますので、アキュライズ10の性能を気に入っていたが、オイル上で敏感過ぎると感じた方は性能そのままにアキュドライブ2を使用していただけでしょう。

特記事項

アキュライズ10の性能を新しい添加剤配合のUGカバーストックで纏い、オイルに対しての安定感をさらにアップさせた仕上がりです。